# 町長コラム㊱

海田町長
山岡 寛次

**災害に備えて**

まもなく台風シーズンの到来です。先月、7月としては最強クラスの台風8号が沖縄本島を中心に大きな爪痕を残しました。海田町では、その数日前に梅雨前線の活発化で大雨に見舞われ、三迫川上流の方面が一部崩落するなどの被害があり、暴風や大雨による更なる影響が危惧されましたが、何事もなく、ひとまず安心しました。海田町史をひもとくと、明治以降、最も甚大な災害として記されているのは、明治40年の大水害で、その石碑が今でも寺迫の長谷寺に残されています。昭和20年の枕崎台風は、「昭和の三大台風」の一つに数えられ、原爆投下から間もない広島県で特に被害が深刻で、死者・行方不明者が2，000名を超えました。平成3年の台風19号は、全国各地に記録的な暴風による潮風害をもたらし、皆さんの記憶にも新しいことと思います。

近年、地球温暖化の影響で、台風の巨大化や集中豪雨の多発などが懸念されています。また東日本大震災以降、各地で地震が頻発し、地震の活動期に入っているとされ、南海トラフ巨大地震をはじめ大きな地震がいつどこで起きてもおかしくない状況です。

平成25年3月に広島県が発表した津波浸水想定では、海田町でも南海トラフ巨大地震により最大3・6メートルの津波が襲来し、沿岸部をはじめとする多くの町域が津波により浸水すると予想されています。そのため町では、昨年度、地域防災計画を見直し、例年、町民の皆さんの協力のもと小学校区ごとに実施している防災訓練に加え、4月に全世帯に「瀬野川洪水ハザードマップ 津波・浸水ハザードマップ」を配布したほか、公共施設などに海抜表示看板を設置したところです。マップには浸水の状況、津波の高さ、避難する際の注意事項のほか、身障者や高齢者のための福祉避難所、浸水時緊急避難施設なども記されています。これを参考に、家族や近所の皆さんで「災害が発生したらどうすればよいか」「今災害に備えてできることは何か」など、話し合っていただければと思います。

行政だけで災害に対応することには限界があります。日頃から、一人ひとりが防災意識を高め、地域の人々が自主防災組織などを通じて互いに助け合うなど、各々が自覚を持って災害に備えることが重要です。

いざという時のために今一度、身の回りの再点検をしてみてください。

## くらしの中の消費者トラブル

町民サービス室　☎823－9219
FAX 823－7927

### 突然の警告表示はセキュリティの広告かもしれません

（独立行政法人国民生活センター発行「見守り新鮮情報第189号」より転載）

**■相談内容■**

検索サイトを見ていたときに、画面の右側にピカピカと光る警告のようなものが表示された。そこには、「パソコンにエラーがあるので、無料ソフトをダウンロードするように」と記されていたのでダウンロードすると、次に「修復には有料で登録する必要がある」という画面が出た。すぐに画面を閉じたが、パソコンを立ち上げるたびに警告画面が表示される。

**■アドバイス■**

パソコン操作中に突然現れる警告表示は、本当の危険やエラーなどを知らせるものだけとは限らず、消費者の不安をあおりソフトの購入手続きに誘導する「広告」の可能性があります。信頼できる表示かどうかわからない場合には、クリックしないようにしましょう。

広報などの警告表示が出る原因の一つとして、パソコンのOS（基本ソフト）やアプリケーションが更新の状態でない場合に、ウェブサイトを閲覧した際などに、意図せず警告を表示させるプログラムなどが埋め込まれることが考えられます。常に最新の状態に保ちましょう。

**■相談窓口■**

**海田町消費生活相談コーナー**
☎823-9219
受付◆木曜日9時30分～16時（12時～13時を除く）
場所◆役場2階町民サービス室
困ったときは、木曜日以外でもお気軽にお電話ください。

**広島県生活センター**
☎223-6111
受付◆月～金曜日9時～17時
場所◆広島市中区基町10－52（県庁農林庁舎1階）

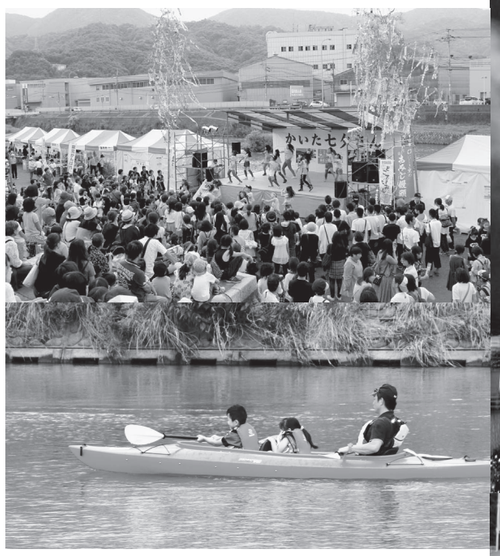


# まちの話題

## 願いが叶いますように

### 第20回かいた七夕さん

平成７年７月７日に第１回が行われた「かいた七夕さん」も今年で20回を迎え、約１万人が参加しました。短冊に願いをこめる人、ステージで日ごろの成果を発揮する人、浴衣を着て屋台を巡る人など来場者はお祭りを満喫。フィナーレでは花火が打ちあがり、来場者は河川敷や橋の上から花火を眺めていました。



▼▶▲ステージやカヌー、花火などかいた七夕さんを楽しむ来場者